

業務認定制度

対象業務の認定基準等

[予防保全請負業務]

(初版)

2026年3月1日

NTTワールドエンジニアリングマリ株式会社

マリオペレーション部

改訂歴

改訂日	版数	記事
2026/3/1	初版	初版（対象業務：予防保全請負業務）

「業務認定制度に係る規約」第3条2項に記載の「業務認定基準」について、以下のとおり記載します。

1. 対象業務

予防保全工事請負業務

2. 対象業務の認定基準等

予防保全工事請負業務の認定基準等を以下のとおりとする。

(1)認定基準：下表2.(1)のすべての認定基準項目が合格で認定する。

表2.(1)「認定基準」

認定基準項目			判定	備考
①	業務経験	過去に相当の業務経験を有し、施工品質に問題が無いこと、または弊社「トライアル施策の品質基準*」を満たすこと(すべての項目で良以上)	合否	*トライアル施策実施後、品質評価フィードバック提示予定
②	必要資格	弊社の運転保全請負業務の業務認定	合否	
③	施工管理	「スキル判定表③施工管理」Bレベル以上の判定品質で業務実施できること	合否	※判定表は表2.(2)参照
④	業務品質	「スキル判定表④業務品質」Bレベル以上の判定品質で業務実施できること	合否	※判定表は表2.(3)参照
⑤	必要機材の所有等	施工等における必要機材等の所有、またはその都度レンタル等調達	合否	(参考2)参照
⑥	認定資格の維持レベル	上記の本認定基準をすべて維持し運用できていること	合否	

(2) スキル判定表③施工管理

①認定基準項目 : ③施工管理レベル

②合格基準 : 下表 2. (2) の設問項目の合計得点に対し、(参考 1) 参考表 1 の「B 判定以上」で合格

表 2. (2) 「スキル判定表③施工管理レベル」

設問項目	評価 (得点)	判定	備考
1	仕様書に基づき適切な施工計画書を作成し工事ができる	—	
2	工事の関係者を特定し工事に必要な説明等の作業ができる	—	
3	海底ケーブル設備を理解し、安全に補修作業等ができる	—	
4	作業者の安全を確保し各種補修作業等ができる	—	
5	計画外の作業に対して適応できる	—	
6	新たに発見した不具合箇所について、各種データを収集し報告ができる	—	
7	適切な測位機器を使用しケーブル等の設備位置の測量を行うことができる	—	
8	設備記録と相違がある場合は、必要なデータを収集し報告、修正することができる	—	
9	陸上作業時は、安全対策を行い作業を実施することができる	—	
10	海上作業時は、警戒業務管理者を配置し安全に警戒業務ができる	—	
11	周辺の船舶航行状況等を把握し、危険回避のため警戒船に対し適切な指示ができる	—	

12	海気象等の状況を把握し作業の中止、中断等の判断及び関係者への指示ができる		—	
13	工事の進捗を把握し、適切な工程管理ができる		—	
14	監督員とコミュニケーションをとり、スムーズな施工に努めることができる		—	
	合計			判定

(3) スキル判定表④業務品質レベル

①認定基準項目 : ④業務品質レベル

②合格基準 : 下表 2. (3) の設問項目の合計得点に対し、(参考 I) 参考表 I の「B 判定以上」で合格

表 2. (3) 「スキル判定表④業務品質レベル」

設問項目	評価 (得点)	判定	備考
1 改善提案書及び補修工程の内容を理解し、必要な補修作業を計画できる		—	
2 設備の不具合状況に応じて安全に作業を実施できる		—	
3 通信に影響を及ぼすような補修作業時は、影響を及ぼさないよう処置を施し適切に作業ができる		—	
4 陸標等付帯施設の補修を適切に実施できる		—	
5 防護管の交換を適切に実施できる		—	
6 個々の設備について、それぞれの設備状況を理解し作業ができる		—	
7 個々の工法の違いを理解し、適切に作業を行えることができる		—	
8 設備の設置環境に見合った作業を検討し実施できる		—	
9 計画外の不具合を発見した場合、指定の様式を使用し改善提案書の作成ができる		—	
10 指定された様式を使用し、定められた期日までに竣工報告書の提出ができる			
	合計		判定

3. 対象業務の業務認定制度規約適用日

予防保全工事請負業務の「業務認定制度に係る規約(2022年11月1日)」の適用日を以下のとおりとする。

当該規約適用日：2026年3月1日

(参考1) 業務認定評価<施工管理レベル><業務品質レベル>の評価レベル
対象業務の業務認定評価レベルを以下のとおりとする。

●業務認定評価レベル

参考1表1「業務認定評価レベル」

評価レベル		得点率	
SA	一人称で作業・業務が出来、更なる創意工夫が出来る	90%以上	○合格
A	一人称で仕様どおり作業・業務ができる	75%以上	
B	概ね一人称で作業・業務ができる	60%以上	
C	指導の下で作業・業務ができる	50%以上	
D	指導の下で補助的作業ができる	30%以上	
D▲	—	30%未満	

○各設問得点レベル

参考1表2「各設問得点レベル」

得点	技術面の問い	知識面の問い
5	一人称で作業が出来、更なる創意工夫が出来る	知識成熟し、十分業務活用出来る
4	一人称で仕様どおり作業が出来、概ね修正がない	マニュアルを基に、十分業務活用出来る
3	概ね一人称で出来るが、軽微な修正がある	マニュアルを基に、業務活用出来る
2	指導の下なら出来、概ね修正がない	聞いたことがあり、ある程度業務活用出来る
1	指導の下なら出来るが、度々修正がある	聞いたことがあるが、余り分業務活用出来ない
0	出来ない	まったく分からない、業務活用出来ない

以上

(参考2) 施工等における必要機材等

施工等における必要機材を下表のとおりとする。

なお、下表以外の機材等、協議のもと、必要に応じて対応することとする。

参考2表1「施工等における必要機材等一式」

※スコップ等一般的な工具類除く。レンタル等対応可。

項番	機材/工具等名	(最小)数量	用途等	記事
1	バンドイットツール	2	ステンスバンド留め	
2	ラチェットレンチ	2	ボルト締め等	
3	インパクトレンチ	一式	ボルト締め等	陸上/海上の用途毎に使分け(電動/油圧/エア)
4	ドリル	一式	岩盤等掘削	陸上/海上の用途毎に使分け(電動/油圧/エア)
5	サンダー	一式	バンド等削り	陸上/海上の用途毎に使分け(電動/油圧/エア)
6	カッター	一式	防護管等切断	電動/油圧/エアの各1台
7	水中クレーン(バルーン)	4	海中運搬等	大×2、小×2
8	ポンプ	1	掘出し・埋設	
9	ピース	1	掘出し・埋設	特注品
10	ジェットリフト	1	掘出し・埋設	特注品

○その他、機材等、協議のもと、必要に応じて対応することとする

※陸上/海中の各々で使用可能な工具の準備要。

※上記の機材/工具等の製品例は別途紹介可能。

以上